

# 塩竈市議会だより

## 平成18年 9月定例会号

	ページ
●議案審議の概要及び各常任委員長報告	2
●平成17年度決算審査の概要	2～3
●市政に対する一般質問	4～7
●意見書・請願・人事・審議結果	8

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 NOV.2006 (平成18年11月)  
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>

### 土よう広場「おべんとうを作ってみよう！」(公民館)



#### 定例会会議日程

- |                |   |
|----------------|---|
| 9月11日<br>(本会議) | 会期の決定、諸般の報告、請願付託、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件審議及び採決                    |
| 9月13日<br>(委員会) | 総務教育常任委員会   |
| 9月14日<br>(委員会) | 産業建設常任委員会   |
| 9月15日<br>(委員会) | 民生常任委員会   |
| 9月19日<br>(委員会) | 平成17年度決算特別委員会   |
| 9月20日<br>(委員会) | 平成17年度決算特別委員会   |
| 9月21日<br>(委員会) | 平成17年度決算特別委員会   |
| 9月22日<br>(委員会) | 平成17年度決算特別委員会   |
| 9月26日<br>(本会議) | 各常任委員会委員長報告、平成17年度決算特別委員会委員長報告、議案審議及び採決、請願審議及び採決、議員提出議案審議及び採決 |
| 9月27日<br>(本会議) | 市政に対する一般質問  |
| 9月28日<br>(本会議) | 市政に対する一般質問  |

平成十八年第三回市議会定例会は、九月十一日から二十八日まで十八日間の会期で開催され、初日に市長より提出議案の説明を受けました。その後、平成十七年度各会計決算認定議案については、平成十七年度決算特別委員会に、その他の議案については市民から提出された請願とともに所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。また、人事案件二件が即日審議の上、可決されました。常任委員会は三日間開催され、付託された議案並びに請願について審査を行いました。また、決算特別委員会は四日間開催され、付託された議案の審査を行いました。本会議二日目、各常任委員長並びに決算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案については委員長報告のとおり十件を可決・二件を認定しました。また、請願については閉会中の継続審査三件を含む五件の審議を行い、四件を閉会中の継続審査とし、一件を不採択としました。本会議三日目から最終日までの二日間にわたり八名の議員が市政に対する一般質問を行い、市政全般に対して市当局の見解をただし閉会しました。

#### 定例会のあらまし

# 平成十八年九月定例会

## 補正予算 三億百九十三万円 可決

九月定例会の一般・特別会計補正予算額は、三億百九十三万円となりました。一般会計の補正額は「国庫補助金等還付金費」「国民健康保険事業特別会計繰出金」「身体障害者支援事業費」「乳幼児医療助成事業費」「浅海

漁業振興費」「市民交流センター管理運営費」「グラウンド管理費」等を主な内容とした二千七十万円が追加計上されました。

特別会計では国民健康保険事業特別会計で二億六千三百二十九万円、老人保健医療事業特別

会計で四十四万円、介護保険事業特別会計で一千七百五十万円がそれぞれ追加されました。また、土地区画整理事業特別会計では債務負担限度額が変更されました。

九月二十六日の本会議において、各委員長より報告を受け、採決の結果、原案のとおり可決されました。今年度の一般・特別・企業会計の総額は四百四十五億二十二万円となりました。

### 常任 委員長

#### 報告

九月定例会において、議案十件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。なお、委員長報告の要旨は次のとおりです。



#### 総務教育常任委員会

委員長 木村 吉雄

◎議案第78号・第79号・第84号については、可決すべきものと決しました。

〔浦戸地区辺地総合整備計画の変更に対する要望意見〕



#### 民生常任委員会

委員長 田中 徳寿

◎議案第76号・第77号・第79号・第80号・第81号・第82号については、可決すべきものと決しました。

〔一般会計補正予算に対する要望意見〕

◎障害者支援事業の電算システム修正については、管理する情報プライバシーにかかわるも



#### 産業建設常任委員会

委員長 鈴木 昭一

◎議案第79号・第83号・第85号については、可決すべきものと決しました。

〔一般会計補正予算に対する要望意見〕

◎漁業経営構造改善事業補助金については、今回の施設整備により浦戸のカキのブランド化の一助にもつながるものであるが、今後はカキの販路拡大やカキ殻の処理についても検討を加えられるなど、さらなる地場産品の育成に向け努力されたい。

## 平成十七年度 一般・特別・企業会計 決算を認定

平成十七年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置された「平成十七年度決算特別委員会」は、九月十九日に開会され、初日に正副委員長の互選を行い、委員長に木村吉雄委員、副委員長に志子田吉晃委員を選出し、四日間にわたり慎重に審査を行い、採決の結果、いずれも認定すべきものと決しました。本会議二日目に、決算特別委員長の報告を受け、採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員及び決算特別委員長報告の概要は次のとおりです。

### 監査委員報告概要

#### 各会計とも適正と認める

一般・特別・地方公営企業会計は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、表示された計数は諸帳簿と符合し正確であり、その内容及び予算執行状況についても適正であると認められた。

本年度、一般・特別会計を併せた実質収支では、赤字決算となっている。一般会計では経常収支比率などが若干好転したものの、前年度はこれらの数値が大きく落ち込んだ年であり、いまだ厳しい状況にある。歳出削減をさらに進める必要があり、全職員が一丸となって財政の健全化と行政の効率化に向け努力されるよう望むものである。

病院事業会計は、年間延べ患者数の減少傾向が一層強まり、さらに経営状況が悪化している。再生緊急プランに基づき人件費の削減や医師確保に努めているが、その効果は当年度決算にまだ現れていない状況にある。特に医師確保を最優先課題として取り組み、安定した医療の提供に最大の努力を払われたい。

水道事業会計は、収益的収支が黒字決算となり、財務比率も好転している。給水人口の減少などから水需要の伸びは期待できない一方、企業債償還や老朽施設の更新等の負担が続くため、経営の合理化や効率化、未収金の早期徴収等に努められたい。

## 決算特別委員会委員長報告



決算特別委員長報告

各会計決算の審査に当たっては、決算書等の説明を聴取し、新たに各種資料の提出を求め、慎重に審査を行い、一般・特別会計については賛成多数、企業会計については全員一致によりそれぞれ認定すべきものと決しました。当該決算に対する主な要望・意見は次のとおりです。

### ▼一般会計

◎地方分権により、権限が移譲された事務については財源確保に向け、国・関係機関に働きかけを強められたい。

◎市税収入は近年の地域経済の低迷を受けて落ち込んでいることから、収納率向上に向けた取り組みを強化し自主財源の安定的な確保を図られたい。

◎随意契約については、競争入札方式へと随時見直しが進められているが、今後も手法の見直しに向け検討を深められたい。

◎交通事故は依然として多発しており、社会問題化している飲酒運転の根絶に向けて、関係機関と連携した早急な対応と意識啓発に努められたい。

◎高齢者支援事業における「はいかい老人SOSネットワーク」の役割は今後重要さを増すものと想定されることから、事業内容の周知に取り組みられたい。

◎病後児保育事業は「施設型」について関係機関と連携を深め、早急な実施に向け検討されたい。

◎墓地の確保については、需要を満たす取り組みについて検討を重ねられ、墓地における良好な環境の整備に努められたい。

◎マリングेट塩釜については、今後も航路利用者の利便性の向上に努力され、各種イベント等を積極的に開催し、海に親しめる交流空間の活用を図られたい。

◎松くい虫対策については、松くい虫の駆除や土壌改良、伐採後の植樹等を積極的に実施され、関係機関に対し支援策を講じるよう働きかけられたい。

◎東塩釜駅周辺は放置禁止区域に駐輪している自転車が散見されるので、市は関係機関等と連携して指導を徹底し自転車利用者のマナー向上を図られたい。

◎交通事業特別会計については、離島航路事業として今後も利便性の向上を図り、良好なサービスの提供に努められたい。

### ▼特別会計

◎国民健康保険事業特別会計については、医療費適正化対策の総合的な推進と保険料の収納率向上対策について検討を深め、健全な事業運営に努められたい。

◎魚市場事業特別会計については、関係機関と連携を強化し、積極的な漁船誘致運動を展開し水揚げ高の増加に努められたい。

◎公共駐車場事業特別会計については、今後とも商店街振興に係る各種施策やイベント等とタイアップし、利用者本位のサービス提供に努め、事業の健全化により一層努力されたい。

### ▼企業会計

◎市立病院事業会計については、待遇改善等による医師確保に努め、再生緊急プランの推進とさらなる経営改革に努力されたい。

◎水道事業会計については、有収率の向上を図られるとともに、他事業との共同施工による効率的な工事の実施に努力されたい。

## 討 論

認定第一号 平成十七年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について、討論が行われました。

### 反対討論の概要

まず一般会計において、市長は選択と集中でむだを見直し社会保障経費に充てるとしているが、削減された予算は福祉や教育予算である。また市営住宅家賃の減免件数はわずかなもので、市営住宅条例等関係法令に照らしても適正な執行とは認め難い。

次に国保事業特別会計においては、国保料が十六・十七年度に引き上げられ市民生活は大きな影響を受けており、保険料を滞納し、短期被保険者証の世帯が多数に上っている。市民が安心して医療を受けられるよう、行政の責任ある対応が必要である。

第三に、介護保険事業特別会計については、保険料や利用料負担が増える一方で、施設不足等でサービスが受けられないなど事業に対する不信と不安を招いており、減免制度を生かした取り組みが求められている。

最後に、土地区画整理事業特別会計については、①大型店に地元がテナントとして入れるのか②既存商店街やマリングेटへの人の流れの創出③駐車場付

近の交通渋滞等が懸念される。よって、認定に反対する。

### 賛成討論の概要

まず、一般会計について、市営住宅を適切に維持管理し、良好な住宅環境を保つには家賃の徴収が必要で、その設定と徴収は市長の裁量権の問題である。

次に、国保事業特別会計について、市は赤字により事業運営に支障を来すことを避けるため国保料を引き上げたものであり、同時に低所得者対策として法定減免を見直している。滞納者に対しては、市は相談に応じるとしており、市民は遠慮なく相談し解決の努力をすべきと考える。

第三に、介護保険事業特別会計については、介護保険料の減免について本市介護保険条例や規則に基づき減免該当者は申請を行えば済む問題と考える。

第四に、土地区画整理事業特別会計については、活用が急がれる貨物ヤード跡地の都市基盤整備を区画整理事業により行い、急務とされる本市の活性化、再生を行うもので、これまでも議会が認めてきているものである。

決算を不認定とするには、行政に不正が認められるなど明確な理由が必要である。市は限られた予算の中で選択と集中により優先度の高い事業の実施に努力をしてきたものと評価している。以上のことから、認定第一号に賛成するものである。

# 一般質問

本会議における各議員の一般質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



社会民主党市議員  
福島紀勝

## 学校教育と今後の動向は

議員 二〇〇二年に始まったゆとり教育は、新学習指導要領の実施過程及び学校週五日制に移行後、子供と教職員に本当のゆとりがあったのか。その後中央教育審議会が早々にゆとり教育からの転換で授業時数の変更や二学期制を例示したが、現行の三学期でどのような問題点があるのか。また、県立高校の学区撤廃について、県教育委員会は高等学校入学選抜審議会からの最終答申を十月に受け、早ければ二〇〇八年度から新制度を導入とのことだが、諸問題の山積の中どう考えているのか。

市長 教育の方向性が明確に定まっていないことを懸念してい

## 海辺の賑わいゾーンづくりは

議員 海辺の賑わい地区土地地区画整理事業全体や仮換地と補償問題、土地等の賃貸及び条件、並びに地盤沈下に対する考慮、下水道の処理や雨水の排水計画等の全体的な進捗状況は。国道

る。地域から本当に評価いただける学校教育の推進に努めたい。教育長 創造的に力強く生きていけるような学力を児童生徒が身につけられるよう努力したい。二学期制については課題が多いため三学期制が妥当と市内校長会から意見が示された。県立高校の通学区域のあり方については県からまだ方針が示されていないが、各中学校における進路指導を充実させながら、地域から信頼され魅力ある学校づくりを県に要望してまいりたい。



海辺の賑わい地区

# 市政に対する一般質問

四十五号との地区編入による面積及び公共施設管理者負担金等はそのようになってきているのか。

また、昨年請願採択された桜並木の植栽による塩竈への集客と名所づくりで活性化を願うものであるが見解を伺いたい。

市長 区画整理事業における仮換地指定は七十七%の進捗状況である。土地の賃貸借契約については、進出事業者と塩竈市土地開発公社との間で間もなく覚書締結がなされる。地盤沈下については、最大十三センチメートル程度の沈下量と試算している。下水道施設のうち雨水施設は基盤整備事業として道路等の整備と並行して進めたい。事業費が当初予定から相当縮減できる見込みである。桜並木の植栽計画については、区画道路の植栽は桜を優先して計画し、県が施行している遊歩道にも桜の植栽をお願いしている。桜のオーナー制度についても検討したい。



塩釜ネットワーククラブ  
伊藤博章

## 障害者自立支援法に伴うサービスは

議員 障害者自立支援法の施行により市町村の役割が一層重要になるが、財政的に厳しい中、



市長答弁

会を実施しているので、まずその制度を活用していただきたい。③障害者自立支援法の施行に伴い二市三町で取り組まれるよう話があったが、内容的経費的な問題等もあり本市では社会福祉事務所業務を開始したい。

## 男女共同参画の取り組みは

障害者及び障害児の切なる要望を実現するための裁量的経費の捻出と、障害者のニーズと適性に応じた自立支援システムをどのように構築するのか伺いたい。

また、同法の施行による自立支援サービスについて障害児を持つ父母から要望のあった点についてそれぞれ市長の見解を伺いたい。①児童デイサービスについて②IT講習等も組み入れた療育支援について③日中一時支援について。

市長 裁量的経費等の問題については、二市三町の地域間の格差が少しでも狭まるよう、塩竈地区消防事務組合において合同で審査業務を行いながら、より実効性の高いものに努めてまいりたい。①ひまわり園で学童も対象として実施している。②既に宮城県で各障害者向けの講習

議員 しおがま男女平等・共同参画基本計画について、独自に調査を行った結果、市民の方々には浸透していないと認識した。このような中（仮称）しおがま男女共同参画推進条例を制定することで、現状との違いを伺いたい。さらに、同基本計画推進委員会の資料で、水産・商工等の自営業における男女共同参画の推進について「女性は経営の意思決定に参加する機会がまだ少ないため環境整備に努める。」とあるが家族経営を進めている企業に不利益を与えるような懸念はないのか、見解を伺いたい。

市長 同計画に基づき、将来にわたり豊かな塩竈を創造していくためには男女共同参画の実現が不可欠であるとの認識に立ち、さまざまな取り組みを展開している。真の男女共同参画に向け、なお努力を重ねていく。本市の産業分野においては、女性の参画や就労率が高い状況であるが、

まだ足りないのではないかと判断している。このような職域に意思決定権を有する女性の方々の参画がなお一層図られればと期待しているが、強制的というような性格のものではない。



公明党  
浅野敏江

## アカモクの利活用は

**議員** 閉鎖性水域の松島湾は水質汚濁が進みやすい環境にあるが、浅海漁業や観光の振興を図る上で水質浄化が求められている。県は浦戸海域でアカモクによる水質浄化の研究を行っているが、内容について伺いたい。市にはホンダワラに海水をかけ塩を採取していた文献もあり、ホンダワラ科のアカモクとのかか



浦戸諸島

わりが深く食品としても注目されていることから地場産品として活用できないのか伺いたい。

**市長** アカモクは海中の窒素、リン酸を栄養源としており、水質の浄化能力が実証されている。現在地元漁協の組合員がアカモクを水質浄化による漁場環境の向上、食材に利用する養殖手法の実験に取り組んでおり、市も浅海漁業振興協議会を通じ支援をしている。今後アカモクを活用してきれいな海を取り戻し海洋都市塩竈の魅力を強化してまいりたい。またアカモクの商品化には藻場の造成が必要で、養殖手法等の技術的課題が残されている。地元漁協ではアカモクセミナーの周知やPR活動等を行っており、市は今後も新たなチャレンジを支援していきたい。

## 障害者福祉サービスの負担軽減を

**議員** 障害者自立支援法が本年十月から全面施行になる。障害者の方々が適正なサービスを受けられるよう、法や制度の周知が必要と考えるが、市の取り組み状況について伺いたい。

公明党では障害者団体の方々との意見交換を繰返し行い、厚生労働省に慎重な対応を要望しており、制度には減免措置や柔軟な対応策が盛り込まれている。

また、佐藤市長に対しても同制度の円滑な運営に向け利用者負担の激変緩和策を講じるよう要望しているが見解を伺いたい。

**市長** 障害者自立支援法については、本年二月に障害者を対象に説明会を開催したほか、広報への掲載や各障害者団体とのヒアリング等において説明や意見交換を行っている。また十月には障害福祉フォーラムを開催する予定である。

利用者負担の軽減については、これまでも宮城県市長会や全国市長会を通じ国に要望をしてきたが、今後も努力を続けてまいりたい。また県内においても激変緩和措置を講じている自治体が出てきていることから、今後軽減策を検討してまいりたい。



ニュー市民クラブ  
田中徳寿

## 市立病院の健全化策は

**議員** 市立病院事業会計の平成十七年度末における不良債務残高はいくらになっているのか。また今後それをどのように処理し、病院事業に地方公営企業法の全部適用をしていくつもりなのか、市長の見解を伺いたい。

**市長** 累積債務は平成十七年度



塩竈市立病院

決算において二十四億三千万円に上っている。現在、単年度収支均衡を目標に再生緊急プランを策定し取り組んでいる。同プラン二年目にあたる今年度は、人件費の抑制、開放型病床の開設、手数料の見直し等の効果が現れるとともに、職員の勤勉手当の削減効果も上乘せされてくる。また医師は県のドクターバシク制度から派遣を受け、常勤医三名増の十三名体制となり医療収益の確保に結びついている。今後も経費の縮減に努め収支均衡を目指してまいりたい。

地方公営企業法の全部適用を行う最大のメリットは、病院経営に精通する事業管理者を選任し、明確な経営責任体制のもとで経理・人事・給与を含め、一般的な管理の枠組みを整えることにある。現在の状況を改善す

るため、同法の全部適用について真剣に取り組んでいきたい。

## 特別会計の健全化策は

**議員** 駐車場特別会計と魚市場特別会計の赤字会計を今後どのように処理するのか。または今まで同様にこれからも繰上充用をしていくつもりなのか、市長の見解を伺いたい。

**市長** 駐車場会計については、累積赤字を解消するために、とくとくホリデーサービスの実施やワンコインの料金体系にするなど利便性の向上を図ることにより、単年度収支は実質的に黒字となり、累積赤字も年々減少してきている。できるだけ早い時期に累積赤字を解消できるように検討を重ねてまいりたい。

**魚市場事業特別会計**については、これまで職員数の削減や委託業務の見直しなど経費の縮減に努めるとともに車両入場許可手数料の改定を行うなど増収にも努め、経営の健全化に取り組んできている。今後とも一日も早く単年度収支が整うよう業界と一体となり漁船誘致活動や防潮ネットの整備、ブランド化の推進や経営改善に努めるとともに、累積赤字の解消に向けて踏み出すことができるよう、全力を挙げて取り組んでまいりたい。

## 市政に対する一般質問



ニユー市民クラブ  
伊藤 栄一

### 学校教育は

**議員** 思いやりの精神、マナーやルールなど、とっさに判断し行動できる力を身につける教育体験をぜひ実現してほしい。例えば、本市は地理に恵まれており、宝の島である浦戸諸島を擁する。浦戸において島を渡り歩き、宿泊し、電気・水道・ガスなどの不足の体験や物のありがたさを実感し、家族との絆や他者に対する思いやり、食事のマナー、寝起きのときのルールなどを体験することにより、大人になったときの基本を身につけることができる体験学習を本市から発信してほしい。

**教育長** 最近の子供たちの大人との日常的なかわりや社会体験の機会が少なくなっているのが実情である。このような状況をふまえ、各学校において体験活動を推進している。例えば、第二小学校では、桂島でサキグロタマツメタガイの駆除活動や磯の生物観察及びハイキングコース等の清掃活動を実施した。

今後も学校での学習活動や地域での体験活動を通して思いや

りの心や判断力を養うとともに、地域のご協力をいただきながら、大人たちもみずから行動し示していくことで心豊かな子供たちを育成してまいりたい。

### 過去の歴史から見て、今後の塩竈の未来像をどうするか

**議員** 昭和十六年人口約三万一千人で市制がスタートした。昭和二十年の終戦後、戦災復興の中で、毎日を生きるのに精一杯の時代であった。昭和三十年代には東洋一の新魚市場を構え水産業のにぎわいにより活気があふれ昭和五十年代には魚市場水揚げが五百億を超え、昭和六十年代には人口も六万以上に増加した。昭和末期から平成に入り国際的な漁業規制の強化や生活様式・ニーズの変化により水産業を初め本市産業が厳しい状況に置かれ時代のうねりを受け今日を迎えた。市長は今後の塩竈市

## 市政に対する一般質問

の未来像についてどう考えるか。

**市長** 本市の歴史は海とともに歩んできており、海・港を中心とした本市ならではの魅力的な資産を生かした水産業、港湾・運輸業、商業、観光、まちの景観整備も含めて再構築をしていくことこそが未来に通じる道筋である。このわずかな都市空間に五万九千人強の人々が今まで歴史・文化を築き上げてきたことは、潜在能力が極めて高いあかしではないか。総力を結集し、このまちの素晴らしさをどんどん情報発信していくことにより本市は間違いなくいい方向に変わっていくと認識している。



日本共産党塩竈市議団  
曾我 ミヨ

### 低所得者に介護ベッド・車いすの無料貸与やレンタルの助成を

**議員** 新予防給付は、運動、口腔、栄養等の向上や改善が必要とされる「特定高齢者」の予防に取組むとしてきたが、その方々は介護サービスの対象から外されることになるのではないかと特定高齢者は何人になっていくのか。予防給付サービスの内容と取り組みについて伺いたい。

また、今回ベッドや車いす等を取り上げる事態になり大問題

になっている。車いすやベッドが給付になっていった方が何人いて、今回、対象から外れた方が何名になっているのか。市としての低所得者に対して無料で貸与やレンタル料に対する助成を行うべきではないか。

**市長** 本市では、四月から地域包括支援センターを設置し、介護予防ケアマネジメントやサービス提供の調整を行っており、サービスを利用される方の生活機能の維持・向上を目指した支援に努めている。なお、八月末現在で、実際にサービスを利用されている方は七十四名いる。

また、福祉用具貸与については、介護度だけで判断することなく、介護認定結果や主治医の意見書、サービス担当者会議での意見等も参考にし、利用者の状況も踏まえて相談に応じ対応していく。

### 奨学金制度を創設し支援策を

**議員** 高校や専門学校に通学する学生を持つ家庭で、今日の不況の中、現実的に経済的に苦しんでいる家庭がある。「高等学校等育英奨学金貸付制度」「社会福祉協議会貸付制度」「母子福祉」「交通遺児育英会」「あしなが育英会」は条件が限られ、深刻な経済状況が高校全体に反映している中で活用できる支援



塩竈市教育委員会

策はなく困っている。県内の各自治体での奨学金貸付制度が実施されていると聞いているがどのようになっているのか。カメイ子ども夢づくり基金の一部を活用して、塩竈市の奨学金貸付制度を実施していただきたいが市長の見解を伺いたい。

**市長** 県内十三市二十町一村のうち、奨学金制度を実施しているのは八市二十一町一村である。奨学金制度の早期実施については昨年の定例会の席上、同様の質問をいただき宮城県や社会福祉協議会でも同様の貸付制度があることを勘案し、奨学金制度の創設を見合わせる旨、お答えしている。本市としては、引き続き県などの奨学金制度について、教育関係者とともに周知徹底に努め、保護者の相談等に対応しながら児童生徒の学ぶ機会の支援に努めてまいりたい。



港奥部と市街地



日本共産党塩釜市議員  
中川 邦彦

## 場外馬券売り場の設置は

議員 「場外馬券売り場設置に

反対する市民の会」に寄せられた意見の主なるものは、「ギャンブルに頼るまちではなく、安心して住めるまちに」「市の活性化は市民と行政そして様々な業界と一体で考えていくべきではないか」。また「この塩竈は鹽竈神社と仲卸市場が全国に知られたまち、歴史の古いこのまちを誇りにしている。この塩竈にウインズの設置は塩竈の魅力を損なう」というものであった。市長が掲げている「日本で一番住みたいまち塩竈」「安心して生活できるまち塩竈」に照らしてもそぐわないのではないかと、見解を伺いたい。

市長 この件については、地元の水産物販売の組合が現状を打開する活性化策の一環として誘致活動を推進すると認識している。この施設の認可者は農林水産大臣であり、地元町内会の合意状況や警察署との協議内容等を踏まえて交通問題や生活環境の保全等の見地から総合的に判断されるものである。市としては、

## 環境整備は

議員 ①市では北浜、二丁目の高

水産業の低迷に悩む業界団体が、現状を改善するために取り組んでいる事業の一環であることから、今後ともその動向を慎重に見極めてまいりたい。

台にある道路を防災道路として位置づけているが、その後どのように検討され、対応しているのか。②市道塩竈新駅上の原線は坂道であり、集中豪雨の際には、相当の勢いで雨が流れるために下流部が冠水して被害を受ける。降雪時には、坂道全体が滑りやすくなり、歩行者は側溝に敷いてある鉄板を通行しなければならず、危険なので側溝の整備をお願いしたい。

市長 ①現在の道路を利用した

整備は、平面的にも高さ的にも



北浜二丁目地内

制約が大きいことを説明させていただいているが、地元の方々より国から払い下げを受けた土地を活用して新たな道路整備の提案もいただいているので、今年度現地の調査を行い計画ルート等を検討したい。②安全性を高めるためには、鉄ぶただけではなく、側溝本体も含めた改良が必要な箇所なども多くあることから、引き続き危険箇所を優先させ計画的に改修を進めたい。

また、当該路線は極めて勾配がきつく、側溝に雨水等が流入しにくい構造となっているので、路面排水対策工法等についてもあわせて検討する。



日本共産党塩釜市議員  
吉川 弘

## 障害者等への軽減策の実施を

議員 障害者のサービス利用に

一割負担を課す問題で八月、党市議団は市内五カ所の障害者施設を訪問、応益負担導入による利用者及び事業所の実態調査を行ったが、大変な事態が進行している。市は、現在の深刻な事態に照らせば、一刻も早く障害者自立支援法の見直しを行うよう国に働きかけるべきである。また、障害者や施設運営の影響

響はどう把握しているのか。市独自に軽減策の実施を行い、利用者、家族の負担軽減策を行うことと、施設運営費の収入が減る事業所への支援策を求められているが、見解を伺いたい。

市長 障害福祉計画を策定していく中でアンケート調査を行ってきたが、多くの方々から利用料が増加しているとの意見が寄せられている。福祉施設においても収入減となり、利用者確保に努める施設も見受けられる。

市独自の軽減策については、障害者福祉計画策定委員会や市民懇談会での議論、アンケート調査等を踏まえ、負担軽減が可能なも含め検討してまいりたい。また国に対しては、全国市長会を通じ、今後も引き続き負担軽減策を要望してまいりたい。

## 市は交通政策を示すべきでは

議員 市民から好評のしおナビ

百円バスは、東北本線の塩釜駅より西側の地域には乗り入れが行われていない。大日向町、母子沢町を初め西部地域には市営住宅もあり高齢者も多く病院に通うにはタクシーが必要である。西部地域を含めバスが走っていない地域にアンケートを実施する考えはあるのか。また今後高齢化がさらに進んでいく中で、



塩釜駅

バス路線についても一部に廃止の方針が出されている状況にあることから、バスが走っていない地域に交通政策を示すべきと考えるが見解を伺いたい。

市長 市では市内循環バス、しおナビ百円バスの運行に際し、平成十四年三月と平成十七年三月にアンケートを行っている。アンケートでは、今後の運行ルートの見直しに対して、バスが乗り入れられていない地域への路線の拡大や空白地域からの乗り入れが要望されている状況にある。市としては、まず廃止対象となっている路線バスの存続を第一に考え、市民の足を確保していくことが肝要と判断している。また、JR各駅と路線バスによる総合交通体系を改めて構築し、より市民の足として定着できるように努力してまいりたい。

## 市政に対する一般質問

# 意見書

今定例会で可決された意見書の概要は次のとおりです。

## ▼道路網の整備促進と道路特定財源の堅持に関する意見書

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済、社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、高齢化、少子化が進展している中で、二十一世紀の社会基盤を計画的に充実させるためにも、道路整備は一層重要となっております。

このような状況の中、道路整備に対する要望は多く、本市は投資の効率化、重点化を図りながら道路の整備を進めていると

ところで、しかしながら、その整備は、いまだ十分とは言えず、道路整備を緊急かつ計画的に推進し、高規格道路から市町村道に至る道路網の体系的な整備が必要であります。

本市といたしましては、総合交通体系のネットワークの拡充により、地域における豊かな生活や活力ある経済、社会活動を支えるためにも重要路線である越の浦春日線、北浜沢乙線、八幡築港線、さらに、都市再生の基盤としての海辺の賑わいを創出するしおかせ通り線等、道路網の整備を一層促進することが最も重要かつ緊急な課題となっております。

## ◆9月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
認定第1号	平成17年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について	認定
認定第2号	平成17年度塩竈市立病院事業会計及び塩竈市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第76号	塩竈市社会福祉事務所設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第78号	消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第79号	平成18年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第80号	平成18年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第81号	平成18年度塩竈市老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決
議案第82号	平成18年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第83号	平成18年度塩竈市土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第84号	浦戸地区辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第85号	市道路線の変更及び廃止について	原案可決
議案第86号	公平委員会の委員の選任について	同意
議案第87号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
議員提出議案第7号	道路網の整備促進と道路特定財源の堅持に関する意見書	原案可決

今定例会で審議された請願は五件で、審議結果は次のとおりです。

○閉会中の継続審査としたもの

▼患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める意見書提出についての請願

▼義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出に関する請願

▼塩釜駅にエレベーターの設置を求める請願

# 請願

よって、政府におかれましては、国民の要望が多く、緊急的に必要な道路整備の重要性を深く認識され、次の措置が講じられるよう強く要望いたします。

一、道路特定財源制度の創設の趣旨に立ち返り、全額を道路整備予算に充当すること。

二、高規格道路から市道に至る道路網の整備の一層の促進と都市の再生、地方の活性化、個性あるまちづくりなどの施策を進めていく上にも、道路整備は不可欠なものであり、地方道路財源の大幅な確保を図ること。

三、地方の道路財源を確保するとともに地方財政対策を充実すること。

▼「学区の撤廃に反対し、学区制問題での公聴会開催を求める」意見書採択に関する請願

○不採択としたもの

▼国に最低賃金制度の改正を求める意見書採択に関する請願

【審査経過概要】

不採択の委員長報告を受け、本会議では討論が行われました。

〈賛成討論〉

賃金低下問題は深刻である。賃金引き下げの圧力に歯止めをかけるためには、法律によって賃金の最低規制を行うことが必要である。

法定最低賃金や雇用保険など、労働者・国民の生活を支える制度はあるものの、その水準は、健康で文化的な生活を保障するには足りない。こうした現実を改め、低賃金労働者の生活を守るためには、現行制度の抜本的な改革が必要である。

〈反対討論〉

最低賃金は労働者、使用者、公益の三者代表による委員会で審議し、民主的に決定されている。また全国一律の制度については、地域差があることから現行の制度が勝っていると考えられ、運用されている。貧困の原因を日本経済や政府とすることから、同制度の改正を求めるの

# 人事

今定例会において、次の方々が同意されました。

公平委員会の委員の選任 郷 家 照 夫 氏

固定資産評価審査委員会の委員の選任 西 村 千 代 氏

次回の定例会(十二月定例会) 十二月七日(木) 開会予定

# 編集後記

市議会だより一六四号をお届けいたします。

本号は、平成十七年度各会計決算の概要と決算特別委員会の審査の経過や委員長報告、市政に対する議員からの一般質問が主な内容です。

今後も皆様に親しまれる議会だよりづくりに努力してまいりますのでよろしく願います。

(議会報編集委員会 委員長 嶺岸淳一)